

平成30年度第1回東郷町総合教育会議会議録

1 日 時

平成30年9月28日（金） 午後 3時00分 開会

午後 3時40分 閉会

2 場 所

東郷町役場 2階第4会議室

3 出 席 者

町 長 井俣 憲治

教 育 長 石川 光秋

教育長職務代理者 小出 直美

委 員 奥谷 美香

委 員 近藤 万友美

委 員 石田 守良

4 欠席委員

なし

5 事 務 局

企 画 部 長 : 島川 雅彦 企画情報課長 : 木本 清彦

6 説明のため出席した職員の氏名

教 育 部 長 : 磯村 元彦 学校教育課長 : 坂野 丈就

参 事 : 酒井 保幸 生涯学習課長 : 中根 一郎

高校総体室長 : 樋口 美紀 給食センター長 : 石原 稔久

【事務局】

全員お揃いのお集まりですので、ただいまから平成30年度第1回東郷町総合教育会議を開催いたします。

それでは、開会にあたりまして、町長からご挨拶を申し上げます。

【町長】

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。今年度最初の総合教育会議となります。今年は、東郷町においても酷暑でございました。教室へのエアコンの設置は、時代の流れに伴い新しい常識になりつつあります。東郷町においても全小中学校の普通教室へのエアコン設置について、迅速に対応してまいります。

本会議の議題にもあがっておりますが、新学習指導要領の実施も控えております。教育現場においては、ICT教育の在り方、道徳のあり方、部活動の在り方など検討していかなければならない事をたくさん抱えています。総合教育会議は東郷町の教育にとっても重要な会議だと思っております。議題について、忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしく申し上げます。

【事務局】

それでは、東郷町総合教育会議の設置要綱に基づき、当会議の議長は町長にお願いしたいと思っておりますので進行をよろしく申し上げます。

【町長】

では早速、協議に入りたいと思います。

協議事項(1) 学校における酷暑対策について 事務局から説明をしてください。

【学校教育課長】

それでは、説明をさせていただきます。「学校における酷暑対策について」、資料1をご覧ください。

こちらが、夏休み前に各小中学校長あてに配布した文書です。5つの事項について、指導の徹底を依頼しました。

一つ目に「高温注意情報が発表されている時には屋外での活動はできるだけ控え、教職員による健康観察だけでなく、児童生徒間同士での健康観察もできるよう指導する。」

二つ目に「低学年の児童は、体調の変化を上手く伝えにくいことを考慮して、児童からの訴えに細心の注意をはらう。（「疲れた」「気持ちが悪い」「頭が痛い」等）」

三つ目に「水泳指導時にも熱中症になる場合があることから、こまめに休憩と水分補給を行う。また、見学者についても、プールサイドは高温になっていることから目を離すことのないようにする。」

四つ目に「金属製の外遊具の使用については、かなりの高温になっていることか

ら、原則使用を控える。」

五つ目に「屋内運動時においては、室温・湿度を確認してから適度な運動量、休憩・水分補給を行う。」

以上、五つの事について、各学校に依頼を行いました。

また、記載はありませんが気温が35度を超えた場合には、屋外での活動及び放課の遊びは禁止しました。学校によっては部活動の後、冷房設備のある図書館やパソコン室などでクールダウンをできるようにしたと聞いております。

ここでエアコン整備計画について、説明させていただきます。

先ほど町長からあり、新聞報道等でも皆さんご存知だと思いますが、酷暑の長期化などが報道されており、本町においても児童生徒を健康被害から守るため、平成31年の夏までに全小中学校の普通教室にエアコンを設置することを計画しております。工事の総額を把握するため9月議会において、設計業務委託料を補正予算で計上させてもらいました。入札により事業者が決定し、工事価格が確認でき次第補正予算で対応する予定です。

以上で(1)の説明を終わります。

【町長】

ありがとうございました。事務局より説明がありましたが、何か質問がありましたらご意見をお伺いしたいと思います。よろしく願いいたします。

【委員】

テレビなどで見たのですが、塩分を補給するタブレットを配っている学校もありました。東郷町においてもそういったものの配付を考えていたりするのですか。

【参事】

東郷町内の学校でタブレット等を配ったというのは聞いていません。

【委員】

水分補給のタイミングは一斉ですか、それとも各生徒にまかせているのですか。

【参事】

基本的には飲みたい時に飲んでもらうようにしていますが、低学年の児童に向けては意識して水分補給するようにと声をかけています。

【委員】

分かりました。ありがとうございました。

【町長】

よろしいですか、それでは、続いて、協議事項(2)新学習指導要領について 事

務局から説明をしてください。

【学校教育課長】

資料2-1、2-2、2-3、により説明させていただきます。まず、2-1「第3期教育振興基本計画（抜粋）」をご覧ください。

第3期教育振興基本計画の中で「ICT利活用のための基盤の整備」という目標が設定されております。資料の真ん中から下にかけてですが、目標の中に見出しが4つあります。一つ目に「情報活用能力の育成」、二つ目「各教科等の指導におけるICT活用の推進」、三つ目「校務のICT化による教職員の業務負担軽減及び教育の質の向上」、四つ目「学校のICT環境整備の促進」というものが挙げられています。それでは、ICTとはどういうことかと言いますと「Information and Communication Technology」の略で情報通信技術のことを言います。また、ICT教育はインターネットが普及し情報が簡単に手に入るようになった現代において、従来教えていたような知識を得るよりも、どう効率よく情報を集められるかが重要になっており、義務教育の早い段階からICTを取り入れることで、情報活用能力を育成することが望めるものであります。

続いて、本町におけるICTに向けた整備状況を説明します。現時点で大型提示装置というものが各学校のフロアに一台ずつ、平均しますと各学校に三台程度設置されております。プロジェクターも1台、実物投影機が1台、学習用パソコンがツーンインワンのものを40台整備済みです。

タブレット型端末は、平成31年度に小学校に10台、平成32年度に中学校に10台増やす予定で、実施計画で要求しております。指導者用のパソコンとして各学校に3台、こちらはテレビにつなげるためのものであります。

その他に、無線LANの整備は、中学校で整備が完了しており、小学校は平成30年度中に整備予定であります。さらに、無線LANを使ったアクセスポイントは、現在は各学校に1カ所ですが、平成31年度、32年度のタブレット端末導入に合わせて増設することを検討しています。

続いて、「プログラミング教育とは」に移ります。資料2-3をご覧ください。

2020年度から実施される新学習指導要領にプログラミング教育が盛り込まれており、小学校において必須化されます。コンピュータプログラムに意図した処理を行うよう指示することができるよう体験させながら「プログラミング思考」などを育むものです。以上、新学習指導要領のうち主にICTとプログラミング教育について説明させていただきました。

【町長】

ありがとうございました。新学習指導要領について事務局から説明してもらいました。ご質問やご意見がございましたら、よろしくお願いたします。

【教育長】

最近、兵庫小学校、高嶺小学校のコンピュータ室の設備等をご覧いただきましたが何か感想等ありましたら教えていただけませんか。

【委員】

時代に沿ってこういったものが必要になってきたんだと思います。普通の教科よりもコンピュータを触ることが楽しいと感じる子どもも多くなるのではと思います。逆に苦手意識を持つ子も少なからずいると思います。また、先生方も勉強して技術についていけないといけないと思いました。こどもは飲み込みが早いので大人はもっと頑張らないといけないでしょう。

【町長】

教育におけるプログラミング教育は、技術的な「プログラマー」を養成するためのものではありません。資料にもありますが「プログラミング的思考」を育むのがねらいです。多くの方がプログラムを作る事を目的としている思いがちですが、そうではありません。事務局からは、改めて「プログラミング的思考」について説明いただくと皆さんの理解が深まると思います。その所について事務局から補足いただけますか。

【参事】

大雑把になってしまいますが、物事を順序立てて論理的に考えていく力と捉えています。

【町長】

コンピュータの技術を習得することが目的ではなく、「プログラミング的思考」を習得することで様々な問題を解決出来るこどもを育てていくということがねらいです。パソコン自体に詳しくなることが目的ではありません。また、実生活に即したことを言えば、ネットマナーやSNSの使い方の指導が重要かと思います。

委員の皆さまには、そういった趣旨をご理解いただき、周知にご協力いただけると幸いです。

他にご意見等ありませんでしょうか。

【委員】

今回のICTに向けた環境整備は、この新しい学習指導要領に対応するためのものですか。

【町長】

タブレット端末の導入やLAN整備がなければプログラミング教育ができないという訳ではありません。ICTに向けた環境整備は、プログラミング教育のみに使うものではなく、一つの教育ツールとして導入するものです。

【委員】

プログラミング教育やICTに向けた環境整備の目的について、教育関係者がどこまで理解できているのでしょうか。どちらも新しい取組のため、取組について理解してもらうための活動も必要だと思います。導入後は、教育の成果も求められてくると思います。

【町長】

ありがとうございました。他に何かご意見はありませんでしょうか。

(委員から意見はなし)

【町長】

本日の協議事項については、以上で終了とさせていただきます。ありがとうございました。事務局から連絡事項等あればお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。総合教育会議の開催については、年に2回程度を予定しておりますので、次回の総合教育会議の日程につきましては、改めてご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、本日の総合教育会議は終了いたします。

本日はありがとうございました。